

第102回

天神会医療と文化セミナー

(社医) 天神会の理念 人々の豊かな生涯を支援する医療

移りゆく社会文化の中での医療の今日を学び、考える糧となることを願っています。

スピリチュアルケアと宗教的援助 その相違と期待される役割

講師 清田 直人 (栄光病院 チャプレン/グリーフカウンセラー)

日時/2019年 10月 17日 (第3木曜) 19:00~20:30

会場/新古賀病院 記念講堂 (管理棟5階)

久留米市天神町 120 電話 0942-38-2222(代)

西鉄久留米駅東側出口から南へ 徒歩5分

【講演要旨】 近年、我が国におけるスピリチュアルケアの関心は高くなっている。中でも「スピリチュアルケア師」や「臨床宗教師」と呼ばれる資格制度の登場は、ホスピス・緩和ケアをはじめとした医療現場のみならず、様々な領域でスピリチュアルケアの必要性が認知されてきた証だともいえよう。とはいえ「スピリチュアルケア」には的確な日本語訳がなく、その定義や概念も曖昧なままであり、宗教的援助においては「信仰」というデリケートな問題も含まれていくため、未だホスピス緩和ケアの領域ですらほとんど実践されていないのが現状である。

今回はそうしたスピリチュアルケアと宗教的援助の実際を紹介しながら、それぞれの意義と役割について考えていきたい。

天神会 新古賀病院/古賀病院 21

(日本医師会生涯教育講座<1.5単位； ， ， >を取得可能)